

第19回

江東シネマ フェスティバル

— RESPECT 小津 —

2025 12/13(土) 14(日)



「秋刀魚の味」©1962/2013 松竹株式会社



「男はつらいよ 寅次郎夢枕」
©1972 松竹株式会社



「出来ごろ」
写真提供：株式会社マツダ映画社



「Shall we ダンス？」
©1995 KADOKAWA 日本テレビ
博報堂DYメディアパートナーズ 日販



「海街diary」
©2015 吉田秋生・小学館 / フジテレビジョン
小学館 東宝 ギャガ



「小早川家の秋」
©1961 TOHO CO.,LTD.

2025

12/13 土

KOTO CINEMA FES. Day 1

チケット 各800円(当日200円増)



10:00

男はつらいよ 寅次郎夢枕



©1972 松竹株式会社

松竹の看板作品

『男はつらいよ』の第10作

寅次郎の幼なじみとして八千草薫がマドンナ役で出演。山田洋次は小津監督たちが築いてきた松竹の伝統を受け継ぐ監督。亀戸天神でロケをした作品です。

【監督】山田洋次

【出演】渥美清/倍賞千恵子/八千草薫

1972年 98分

上映前

トークイベント



ゲスト 佐藤利明

娯楽映画研究家

14:00

出来ごころ



写真提供: 株式会社マツダ映画社

小津の育った

下町が舞台の人情喜劇

無声映画時代に、小津は「喜八物」と呼ばれる下町喜劇のシリーズを作っています。後の「寅さん」シリーズの元祖のような作品です。「古石場」の文字も登場する作品です。

【監督】小津安二郎

【出演】坂本武/伏見信子/飯田蝶子

1933年 100分

無声映画+活弁



弁士 澤登翠

伴奏 カラード・
モノトーン

18:00

Shall we ダンス?



©1995 KADOKAWA 日本テレビ 博報堂DYメディアパートナーズ 日版

家族みんなが楽しめる
快活なコメディ

小津監督をこよなく愛する周防監督の作品。平凡なサラリーマンが、ある社交ダンス教室を訪れたことから始まる物語。大ヒットし、アメリカでリメイクもされました。

【監督】周防正行

【出演】役所広司/草刈民代/竹中直人

1996年 136分

上映前

トークイベント

ゲスト 周防正行
映画監督草刈民代
俳優

14日

KOTO CINEMA FES. Day 2

開場時間は、各回上映20分前です。



10:00

海街diary



©2015 吉田秋生・小学館/フジテレビジョン 小学館 東宝 ギャガ

鎌倉を舞台に
四姉妹の絆を描く物語

父親の葬儀で、腹違いの妹と会った三姉妹。それぞれの想いを抱えながら四人が本当の家族になっていく物語。小津監督の『麦秋』の世界観も参照して撮られた作品でもあります。

【監督】是枝裕和

【出演】綾瀬はるか/長澤まさみ/夏帆/広瀬すず
2015年 126分

上映後
トークイベント

ゲスト 是枝裕和
映画監督

14:00

小早川家の秋



©1961 TOHO CO.,LTD.

無常観を感じさせながらも
快テンポな作品

関西を舞台に「古い」をテーマに制作した、小津監督のたった一本の東宝作品。翌年に引退する原節子が出演した最後の小津作品。『秋日和』に続く「秋」三部作の二作目です。

【監督】小津安二郎

【出演】中村錦之助/原節子/司葉子
1961年 103分

上映後
トークイベント

ゲスト 中井貴恵
俳優

18:00

秋刀魚の味

[デジタル修復版]

老いを主題に
喜劇的に描いた小津の遺作

小津の戦後のスタートと言われる『晩春』と同様に、老いた父親が娘を嫁がせる物語。「十年に一人の純情型」と小津が言った、岩下志麻が主演の作品。

【監督】小津安二郎

【出演】岩下志麻/笠智衆/佐田啓二
1962年 113分



©1962/2013 松竹株式会社

上映前
トークイベント

ゲスト 岩下志麻
俳優



司会 立花珠樹
映画評論家

関連イベント

築山秀夫コレクション展 小津安二郎の昭和 ～昭和100年の年に～



2025 11/15(土) → 2026 1/31(土)

ギャラリートーク 12/14(日) 16:10-17:10 先着30名
シネマフェスティバルチケット申し込み時にお申し出ください。

企画展①

区民コレクション

プロマイドで振り返る昭和100年

2025 11/8(土) → 12/8(月)

企画展②

江東区ゆかりの映画

2025 12/12(金) → 2026 1/31(土)

プレイベント

「小津ゆかりの深川」まちあるき

2025 12/11(木) 13:00-15:00

参加費 100円 要申込み(定員10名)

「小津マルシェ」開催

小津関連グッズの販売
懐かし映画パンフレットプレゼント
12/13(土) 14(日) 11:30-17:30

お食事処「深川めし」販売

12/13(土) 14(日) 11:30-14:30

ちょっとひと休み「お茶」

12/13(土) 14(日) 11:30-16:30

福祉作業所まごころ市

12/13(土) 14(日) 10:00-16:00



主催 公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団 江東区古石場文化センター

協力 松竹株式会社/株式会社マダマ映画社/全国小津安二郎ネットワーク/
音声ガイド江東シネマアイ/古石場ムービー倶楽部/シネマボランティア

協賛

Fujikura

GATHARIA



お食事券が当たる!!

映画をご鑑賞いただいた方の中から抽選で20名様に「深川ギャザリア内の
レストランお食事券」(1,000円分)をプレゼントいたします。詳細は会場で。



映画のまち深川

～小津安二郎の生まれたところ～

日本映画の至宝と云われ、世界的な名匠としても名高い小津安二郎監督は明治36(1903)年、現在の東京都江東区深川に生まれ、約23年住み、デビュー作から33本の映画を深川時代に作りました。彼の作品は日本の家庭や家族のあり様を描き、その情愛の深さとはかなさなど、日本人の心情を映

像で表現し続けました。作品の中にしばしば見られる街の風景や登場人物には、彼を生み育て、住みなれた江東区の土地柄が大きな関わりと影響を与えています。

映画チケット【前売り】 全席自由 各回総入れ替え制

チケット

各800円

※当日券は各200円増し、各回開場時間に販売。前売券が完売の場合、販売はございません。
※障害者付き添いの方1名は無料です。



目の不自由な方も映画を楽しんでいただくため、登場人物の動作や場面状況をセリフの妨げにならないよう音声(FMラジオ)で伝えます。【要予約】FMラジオの無料貸出があります。

会場・チケットのお申込み

江東区古石場文化センター

☎ 03-5620-0224

FAX 03-5620-0258 <https://www.kcf.or.jp>

受付時間 9:00-21:00(休館日 第1・3月曜 ただし祝日は開館)

チケットは江東区内各文化センター/総合区民センター/ティアラこうとう/深川江戸資料館でも取扱います。(深川江戸資料館は17:00まで)

11/9(日)
10:00～
受付開始

アクセス

江東区古石場文化センター

135-0045

東京都江東区古石場2-13-2

電車

② 東京メトロ東西線「門前仲町駅」

T12 2番出口より徒歩10分

④ 都営地下鉄大江戸線「門前仲町駅」

E15 4番出口より徒歩15分

③ JR京葉線「越中島駅」

JE03 3番出口より徒歩10分

④ 東京メトロ東西線「木場駅」

T13 4番出口より徒歩10分

都営バス

● 都07 錦糸町駅 ⇄ 門前仲町

● 東22 錦糸町駅 ⇄ 東京駅北口
「富岡一丁目」下車 徒歩7分

● 門33 亀戸駅 ⇄ 豊海水産埠頭
「越中島」下車 徒歩10分

